

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は

「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年8月31日

組織名【熊本県医療介護福祉労働組合連合会】

2344名

人のいのちを守る事を生業とする私たちは、人の命を奪い奪われる戦争に絶対反対の立場です！

この安全保障関連法案を私たちは戦争法案と解釈し、日本国憲法に反する戦争法案を、ただちに廃案とすることを強く求めます。

